



R5.2.1 発行

今年度も残りあと2か月を切りました。1日1日を大切に、今月も元気に過ごしたいと思います。

先月から発表会の練習が本格的に始まりました。ばら組の時は全員でセリフを言っていました。今年度は一人でセリフを言えるように取り組んでいます。練習が始まった頃は、セリフを覚えず保育者の方を見て教えてもらうのを待っている子や友だちが発表している時に、友だちとおしゃべりをして友だちの発表を聞かない子がいたりとさまざまでした。最初は、1～4場面のグループでセリフを言う練習をしました。繰り返し行っていくと、誰の次にセリフを言うのか忘れてしまった友だちに「～くん・～ちゃんだよ。」と順番を教えてあげる姿や、セリフを覚えてきている子が戸惑っている友だちのことをリードし支える姿も見られるようになってきました。練習を繰り返す中でセリフを覚えていても大きな声で言うことが難しい子が多く、保育者が小さい声や身体を揺らしながらセリフを言ってみる劇と、大きな声でセリフに合わせて身振り手振りを入れる劇、2つの劇を子どもたちに見てもらい、こうしたらもっと良くなる・どこが良かったのかを子どもたち自身が考える機会を作りました。すると、子どもたちの方から「大きな声で言うといいよね。」「2回目（良い例）の方が楽しそうだった。」と子どもたちの方からいろいろな気づきが出てきました。発表会に向けて、子どもたちから「もっとやりたい」「もう一回やろう」と声上がるなど、練習を重ねていくうちにみんなで協力して劇を作り上げるという気持ちが少しずつ芽生えてきたように感じます。



(今月のねらい)

- ・食具を正しく持つ。
- ・友だちとイメージを膨らませながら活動に取り組む。

(今月の活動予定)

- ・豆まき・体育指導・集団遊び・製作
- ・コーディネーショントレーニング

～いきいきチャレンジ～

先月は、「じぶんでトイレでできる?」についてご紹介しました。今月は「じぶんで片付けできる?」について紹介します。遊びの様子を見ていると、床に色鉛筆や玩具が落ちていても自分が使っていないから片付けない、落としても気が付かない姿が見られます。誰かがやってくれるという気持ちもあると思います。そのため、落ちていたらどうなるのか(怪我をする・壊れてしまう・無くなってしまふなど)を子どもたちに問いかけ、考える機会を作っています。

また、製作を行うとテーブル中に自分の物を全て広げ製作をする場所がなくなってしまうことも多々あります。小学校に行くと一人一台の机の上で作業することになります。まずは、子どもたちと一緒にどこに置いたら製作がしやすいのかを考え、小学校に行くまでの習慣を毎日つみあげ整理整頓が身につくような対応を行っています。



2月生まれのお友達

5歳のお誕生日
おめでとう!!

